

2-2. 盲学校の教育課程類型と人数・自立活動時数の実態

菅井裕行 澤田真弓 佐島 毅

盲学校における教育課程の類型の実態に関する結果と考察

盲学校において「学年相応に準ずる教育課程」を設けているのは、小学部で56校中51校（91.1%）中学部で53校中48校（90.6%）高等部で51校中49校（96.1%）であった。「下学年適用による教育課程」を設けているのは、小学部29校（51.8%）中学部で24校（45.3%）高等部で22校（43.1%）であった。「知的障害養護学校の教育課程」が、小学部で56校中37校（66.1%）中学部で34校（64.2%）高等部で31校（60.8%）と、60%をこえる割合で設けられていた。自立活動を主とする教育課程を設けているのは、小学部で26校（46.4%）、中学部で15校（28.3%）、高等部で20校（39.2%）で、小学部における設置率が高かった。以上にみられるように、重複障害に対する対応が半数を超える割合で伺える。障害の重複する児童生徒に対しては、盲学校においては下学年適用による教育課程もしくは知的障害養護学校の今教育課程を設けることで対応している割合が高い。自立活動を主とする教育課程の割合から、盲学校に在籍している重度の重複障害のある児童生徒の割合が推察される。自立活動を主とする教育課程についての学部間比較をみると、中学部が頻度が低くなっている。

盲学校における教育課程の類型ごとの児童生徒数の実態に関する結果と考察

教育課程の類型ごとの児童生徒数をみると、学年相応に準ずる教育課程が51.3%と最も高く、それ以外では知的障害養護学校の教育課程を設けている割合で16.5%、ついで下学年適用による教育課程が12.0%、さらに自立活動を主とする教育課程が11.1%であった。各学部間で比較してみると、小学部において学年相応に準ずる教育課程で学ぶ児童生徒数が31%と少なく、その分知的障害養護学校の教育課程で学ぶ数が22.9%と、他学部に比べて高い値を示している。

訪問教育による教育課程で学ぶ児童生徒数は小学部で2名、中学部・高等部でそれぞれ1名と少ない。

教育課程の類型ごとの自立活動の週平均指導時数に関する結果と考察

下学年適用による教育課程と、知的障害養護学校の教育課程については、小学部でそれぞれ、4.5時間、6.4時間とやや多い。一方自立活動を主とする教育課程については、中学部で15.9時間と他学部にくらべて多くなっている。しかし、おおむね学部による大きな違いは見られていない。自立活動を主とする教育課程については、どの学部も13から15時間の時間をあてている。

表2-2-1 盲学校における教育課程の類型（幼稚部）

	課を自 程設立 け活 な動 いの 教時 育間	程を自 程設立 け活 な動 いの 教時 育間	そ の 他
学校数	18	24	3
構成比（%）	43.9	58.5	7.3

有効回答数41

表2-2-2 教育課程の類型ごとの人数（幼稚部）

	課を自 程設立 け活 な動 いの 教時 育間	程を自 程設立 け活 な動 いの 教時 育間	そ の 他	合計
人数	171	115	5	291
構成比（%）	58.5	39.5	1.7	100

表2-2-3 教育課程の類型ごとの自立活動週平均指導時数（幼稚部）

	課を自 程設 立け 活 な 動 い の 教 育 時 間	程を自 設 立 け 活 た 動 教 の 育 時 間
平均指導時数	15.4	6.0

表2-2-4 教育課程の類型ごとの人数（小・中・高等部）

		教 育 年 相 応 に 準 ず る	教 育 年 相 応 に 準 ず る	の 知 的 障 害 養 護 学 校	自 立 活 動 を 主 と す	訪 問 教 育 に よ る	通 信 に よ る 特 例 に よ る	そ の 他	有 効 回 答 数
小学部	学校数	51	29	37	26	2	—	9	56
	構成比（％）	91.1	51.8	66.1	46.4	3.6	—	16.1	
中学部	学校数	48	24	34	15	1	—	8	53
	構成比（％）	90.6	45.3	64.2	28.3	1.9	—	14.1	
高等部	学校数	49	22	31	20	1	—	19	51
	構成比（％）	96.1	43.1	60.8	39.2	2	—	37.3	

※ その他は、項目として挙げた他に教育課程の類型があり自由記述で回答のあったものであり、今回その中身については分析していない。

表2-2-5 教育課程の類型ごとの児童生徒数（小・中・高等部）

		課 準 学 程 ず 年 相 応 に 準 ず る	課 に 下 程 よ る 年 相 応 に 準 ず る	育 護 知 的 障 害 養 護 学 校	育 主 自 立 活 動 を 主 と す	合 計	訪 問 教 育 に よ る 教 育 課 程				そ の 他	合 計
		育 年 相 応 に 準 ず る	育 年 相 応 に 準 ず る	育 年 相 応 に 準 ず る	育 年 相 応 に 準 ず る	育 年 相 応 に 準 ず る	育 年 相 応 に 準 ず る	育 年 相 応 に 準 ず る	育 年 相 応 に 準 ず る	育 年 相 応 に 準 ず る	育 年 相 応 に 準 ず る	育 年 相 応 に 準 ず る
小学部	人数	231	91	129	88	1	0	1	0	0	24	564
	構成比（％）	31	16.1	22.9	15.6	0.2	0	0.2	0	0	4.0	100
中学部	人数	176	47	65	43	0	0	0	0	0	10	341
	構成比（％）	51.6	13.8	19.1	12.6	0.0	0	0	0	0	3.0	100
高等部	人数	487	71	93	63	1	0	0	0	1	122	837
	構成比（％）	58.2	8.5	11.1	7.5	0.0	0	0	0	0.1	14.6	100
合 計	人数	894	209	287	194	2	0	1	0	1	156	1742
	構成比（％）	51.3	12.0	16.5	11.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	9.0	100

※ 「通信による教育を行う場合の特例による教育課程」では対象生徒数の記入がなかったため、表の項目から除いていた。

表2-2-6 教育課程の類型ごとの児童生徒数（訪問教育による教育課程の人数を4類型に含む）

		育学年 課程 に 準 ず る 教	育下学 課程 年 適 用 に よ る 教	教知的 育障 課程害 養 護 学 校 の	教自立 育活 課程動 を 主 と す る	そ の 他	合 計
小学部	人数	231	92	129	88	24	564
	構成比（％）	31	16.3	22.9	15.6	4.0	100
中学部	人数	176	47	65	43	10	341
	構成比（％）	51.6	13.8	19.1	12.6	3.0	100
高等部	人数	487	71	93	64	122	837
	構成比（％）	58.2	8.5	11.1	7.6	14.6	100
合計	人数	894	210	287	195	156	1742
	構成比（％）	4.0	0.9	1.3	0.9	9.0	100

表2-2-7 教育課程の類型ごとの自立活動の週平均指導時数（小・中・高等部）

	教学 育年 課程 に 準 ず る	教下学 育課程 年 適 用 に よ る	の知 教育 障 課程害 養 護 学 校	る自 立 活 動 を 主 と す る	教学訪 育年問 課程相 應に 準 ず る	教下学 育課程 年 適 用 に よ る	の知 教育 障 課程害 養 護 学 校	る自 立 活 動 を 主 と す る
小学部	2.8	4.5	6.4	14.3	—	12.0	—	—
中学部	2.6	3.1	5.9	15.9	1.0	—	—	—
高等部	2.2	3.8	5.7	13.1	—	—	—	12.0